

放射線防護食品エビデンスレポート

No088

1. 文献名

Valentin J. International Commission on Radiological Protection. Protecting people against radiation exposure in the event of a radiological attack. A report of The International Commission on Radiological Protection. Ann ICRP. 2005;35(1):1-110.

2. 目的

放射線照射から身を守ることにに関して、ICRP(放射線防護国際会議)で定められたあらゆる危機的事象へ対処できる規制規約を日ごろから意識する心得の重要性についてのアプローチ。

3. データソース

PubMed

4. 研究の選択

会議・ディベート

対象	—
投与方法	—
投与のタイミング	—
投与物質	—

5. データ抽出

なし

6. 主な結果

放射線防護の第一の目的は放射線照射による急性健康害を防ぐこと、そしてガンや遺伝病などの発症を抑制することである。第二の目的は放射性残留物による環境汚染やそれに伴う日常生活の混乱を最小限にすることである。放射線照射から身を守るために行動を取ることが、放射線照射を受けた後の医学的治療よりも更に効果的な防護手段といえる。放射線防護に関して、治療や照射量の上限等においては業務作業的にICRP指針に基づく国際標準に乗っ取って全緊急事態対応型アプローチが行われるべきである。

7. 結論

放射線照射への防護対策は、ICRPによる放射線防護についての要項を日頃から前もって意識し、標準化マニュアルを用意しておくことであるということが言える。

簡易な要約(plain language summary)

放射線攻撃事象における放射線被ばくに対する一般市民の防護

放射線照射からの人々の防護(放射線防護国際会議の報告書放射線照射からの人々の防護;放射線防護国際会議の報告書)
放射線防護に対する防御対策に対する指針のあり方について、ICRP会議で討論された要項をまとめた報告書である。

8. 安全性評価か有効性評価か

記載なし

9. 論文中有害事象・副作用の記載

記載なし

10. カテゴリーの規格基準に関連する事項や図表

記載なし

11. キーワード

RDD Contamination Radiation protection Intervention Emergency planning

12. 関連する食品認証と用途

該当なし

13. 備考